

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	熊本県読書活動振興協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名 高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 大高知加子
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発	所属班	図書館班	(内線) 2511
				法令根拠	熊本県図書館活動振興協議会会則	

予算科目	会計 1	款 10	項 5	目 8	事業連番 10947	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12	コスト削減優先度評価結果 6*44
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
日本図書館協会等、公共図書館の連絡協議会に参加する事業である。  
【業務の流れ】  
研修会参加、協議会会員間の連絡・調整等をする。  
【主な予算費目】  
負担金及び交付金(県図書館活動振興協議会負担金)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度と同じ	協議会会員間の情報交換会の実施。講演会。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 情報誌入手件数 件
図書館職員	イ 研修会参加者数 人	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
	ア 図書館職員数 人	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 情報誌入手件数 件
・図書館の現状及び最新情報を入手できる	イ	
・参画することによって専門性の向上につながる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 学習に取り組んでいないが今後取り組んで見たいと思う市民の割合 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	イ	イ スポーツに取り組んでいないが今後取り組んで見たいと思う市民の割合 %
学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。		
施設や学習内容を知ることができる。		

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	9	9	9	9	9	9	9	
	(A) 事業費計	千円	9	9	9	9	9	9	9	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	32	32	32	32	32	32	32	
	(B)人件費計	千円	127	127	127	127	127	127	127	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	136	136	136	136	136	136	136	

活動指標	ア 件	2	2	6	6	6	6	6
	イ 人	2	3					
対象指標	ア 人	7	7	7	5	6	6	6
	イ							
成果指標	ア 件	2	2	10	6	10	10	10
	イ							
上位成果指標	ア %	57.5	65.7	58.5	61.4	59	60	
	イ %	60.8	63.4	62.8	63.1	63.3	63.8	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
西合志図書館は、平成7年に郷土資料館と共に開館。合志図書館は、平成7年に総合センター「ヴィーブル」の開館と同時に開館し、熊本県読書活動振興協議会に入会した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
合併により、1自治体として入会したため、1館分の費用を支払っている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
専門的な知識が得られたことにより、住民サービスがよかった。

事務事業名	熊本県読書活動振興協議会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 資質向上が図れないため
効率性 評価	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 市職員の資質向上(市民サービス)のため、税金を使うことは妥当である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )